

協会だより

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目 50 番地

愛知県白壁庁舎 2 階

TEL (052) 961-8985

FAX (052) 961-9255

平成 26 年 1 月 10 日発行 VOL. 2



AICHI, TOYOGAWA YOSUI
SHINKO KYOKAI



年頭にあたって

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会
理事長 松下栄夫

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から当協会の業務運営につきまして、格別のご支援とご理解を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、平成 6 年の大渇水を思い起こさせるような少雨と猛暑に見舞われ、高知の四万十では観測史上最高気温の 41 度を記録する一方で、大型台風が頻発し京都嵐山や伊豆大島では未曾有な災害が発生しました。

本県においても、矢作川用水の節水に始まり、木曽川用水、愛知用水と空梅雨の影響が広がる中で、尾張地域の渇水は短期間で解消されましたが、馬の背を分けたかのように、三河地域では雨が降らず、渇水が継続しました。豊川用水では佐久間ダムからの導水と大島ダムによって断水は回避されたものの、宇運ダムは枯渇同然に陥りました。

豊橋に台風が上陸する奇禍により、節水は 50 数日間の出来事で済み、また、知事が設楽ダム建設を容認されましたことに、多くの方々が安堵されたと思います。

改めて水源地域の方々へ深く感謝されますことをお願い申し上げます。

また、昨年は富士山が世界遺産に登録されたことや、2020 年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定といった嬉しい出来事に加え、日本の和食文化も無形文化遺産に登録されるなど、世界の人々へ日本の国土や伝統の美しさを『お・も・て・な・し』の心を籠めて発信できる大きな機会を得ることとなりました。

世界金融危機とデフレによって低迷を続けてきた日本経済も、年末の株価が示しているとおりの 1 年で急速に上昇するなど、アベノミクスの政策効果は顕著なものになっており、私たちの仕事に深い関係がある農業基盤整備事業の予算も、多くの方々の要望と努力によって削減される前の状態に回復しつつあることは誠に心強い限りです。

さて、昭和 63 年に愛知県知事の認可を受けて発足した当協会は、用水の適正利用に関する広報啓発及び用水の安定供給を確保するための事業を行い、地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、昨年 4 月に公益財団法人へ移行し、活動を続けているところでございます。

皆様方のご支援、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

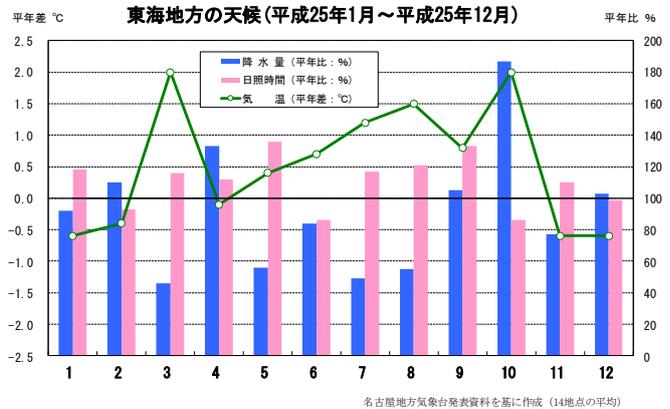
東海地方の天候と水源の状況

1 平成 25 年の天候の特徴

(名古屋地方気象台 平成 26 年 1 月 6 日発表資料を基に作成)

(1) 平均気温

冬は寒気の影響を受け、1月の気温は低くなりました。春は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり気温は高くなりました。夏から秋には気温は高くなりました。特に、8月と10月は太平洋高気圧の張り出しが強まった影響でかなり高くなりました。11月以降は寒気の影響を受けやすくなり、低く推移しました。年平均気温は高く(+0.5℃)となりました。



(2) 降水量

4月は低気圧や前線の影響で多く、10月は前線や台風の影響でかなり多くなりました。一方、3月と5月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった影響でかなり少なく、7月から8月は太平洋高気圧の張り出しが強まった影響で少なくなりました。他の月は平年並となりました。年降水量は少なく(89%)となりました。

(3) 梅雨

梅雨入りは5月28日ごろ、梅雨明けは7月7日ごろで、ともに平年よりかなり早くなりました。

(4) 台風

2つの台風が本州に上陸し、台風第18号は愛知県豊橋市付近に上陸して記録的な大雨となりました。

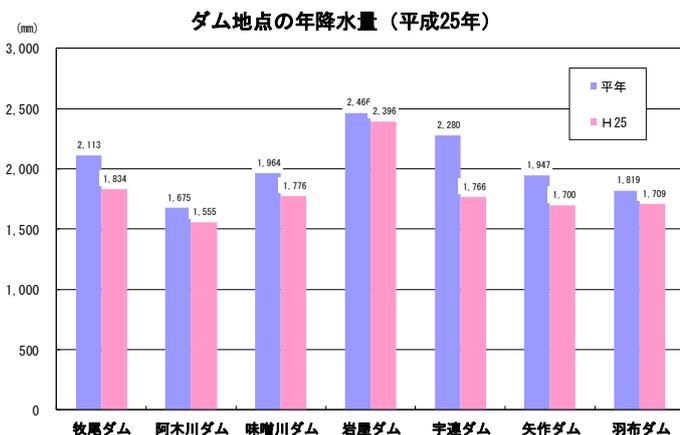
2 ダム地点の降水量と節水状況

(1) ダム地点の年降水量

ダム地点の年降水量は、平年より少なくなり、7地点の平均は89%となりました。

(2) 用水の節水状況

6月から9月の間、降水量が少ない時期にダム貯水量が大きく低下したため、各用水で節水が行われました。特に、豊川用水では、宇連ダムの貯水率が0.8%まで低下し、1994年以来19年ぶりとなる上水道の28%節水が行われました。



用水の節水状況

用水 (主水源)	回数	節水期間 (日)	節水率 (%)			貯水率 (%)
			農水	上水	工水	
木曾川用水 (岩屋ダム)	1	06/13 ~ (3)	10	5	10	43
	2	06/16 ~ (13)	15	10	15	37
	解除	06/29 (16)				80
愛知用水 (牧尾ダム)	1	06/18 ~ (11)	5	5	10	41
	解除	06/29 (11)				68
豊川用水 (宇連ダム)	1	07/26 ~ (10)	5	5	5	46
	2	08/05 ~ (15)	10	10	10	34
	3	08/20 ~ (6)	20	20	20	9
	4	08/26 ~ (9)	30	25	30	5
	5	09/04 ~ (6)	40	28	40	3
	6	09/10 ~ (8)	20	20	20	15
解除	09/18 (54)				40	
矢作川用水 (羽布ダム)	1	06/05 ~ (6)	隔番※	10	-	53
	2	06/11 ~ (99)	強化※	20	-	43
	解除	09/17 (105)				63

※隔番かんがい、隔番かんがい強化

3 水源の状況と天候の見通し

(1) ダム貯水率

平成 25 年 12 月 31 日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(<http://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線 [月 2 回更新]

★水源の状況と天候の見通し(3 か月予報) [月 1 回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

H25. 12. 31

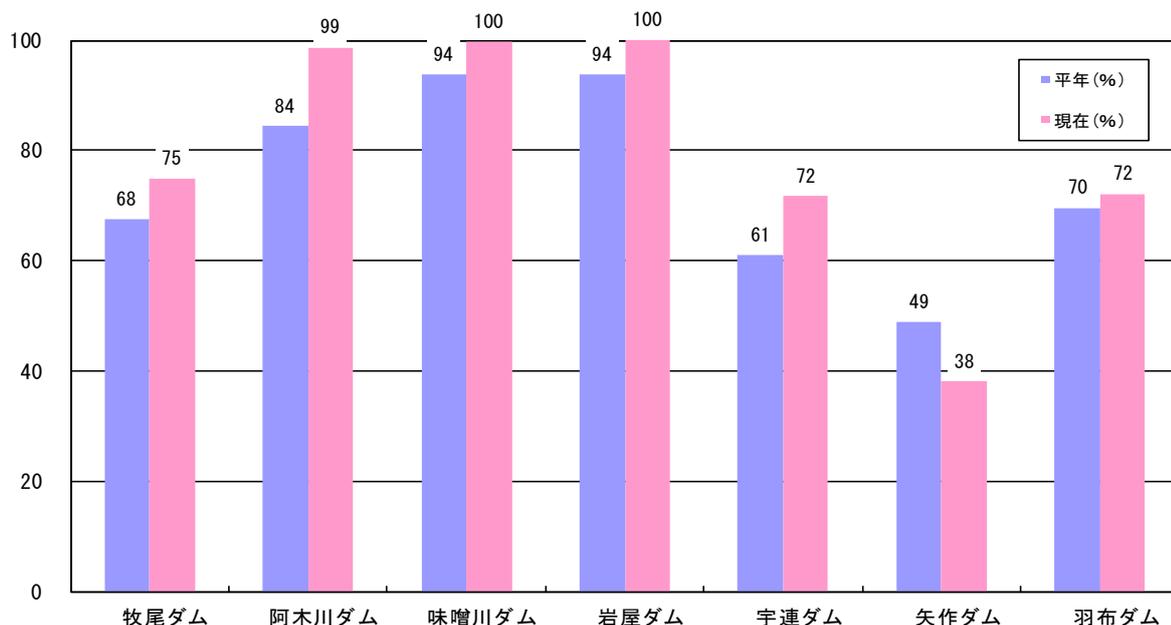
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	平年貯水率 (%)	貯水率 (%)	平年差 (%)	備 考
木曽川水系						
牧尾ダム	68,000	50,898	67.5	74.9	7	やや多い
阿木川ダム	22,000	21,716	84.3	98.7	14	多い
味噌川ダム	31,000	30,885	93.7	99.6	6	やや多い
岩屋ダム	61,900	61,835	93.7	99.9	6	やや多い
豊川水系						
宇連ダム	28,420	20,353	60.9	71.6	11	多い
豊川用水全体	51,820	38,775	72.0	74.8	3	平年並
矢作川水系						
矢作ダム	65,000	24,700	48.8	38.0	-11	少ない
羽布ダム	18,461	13,321	69.6	72.2	3	平年並

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページに別途掲載

<http://www.aitoyo.or.jp/tyosui.html>

(%)

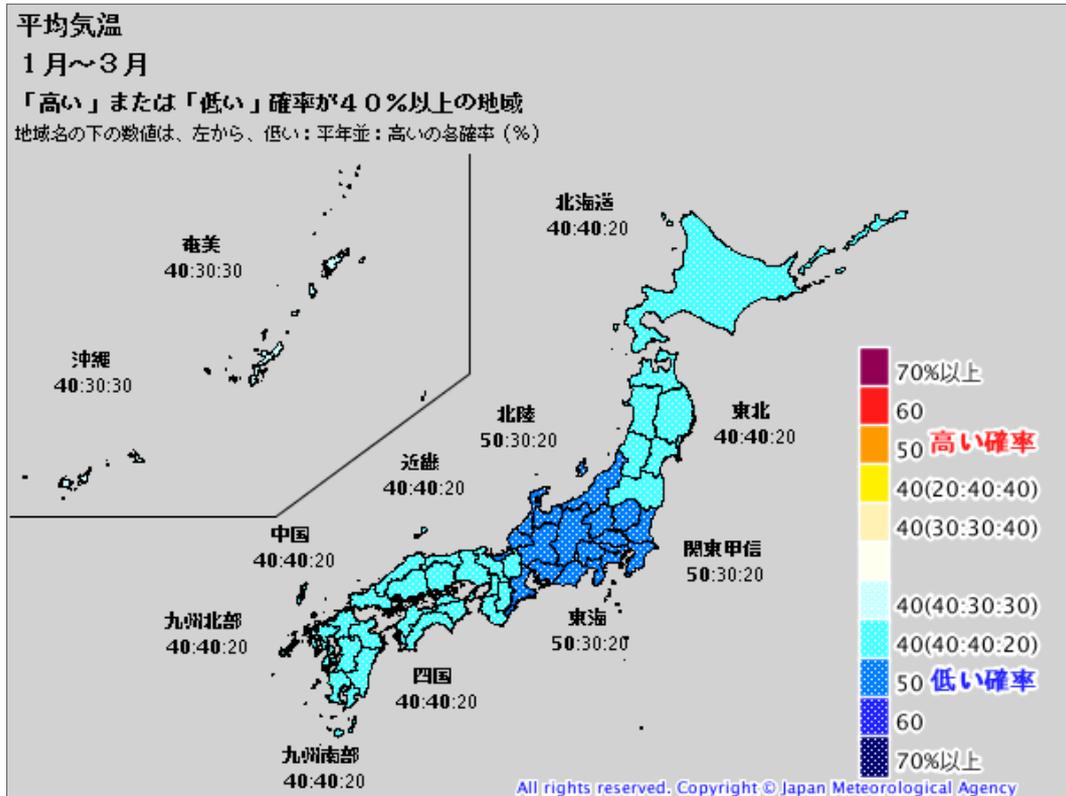


(2) 東海地方の3か月予報

(名古屋地方気象台 平成25年12月25日発表資料を基に作成)

① 気温

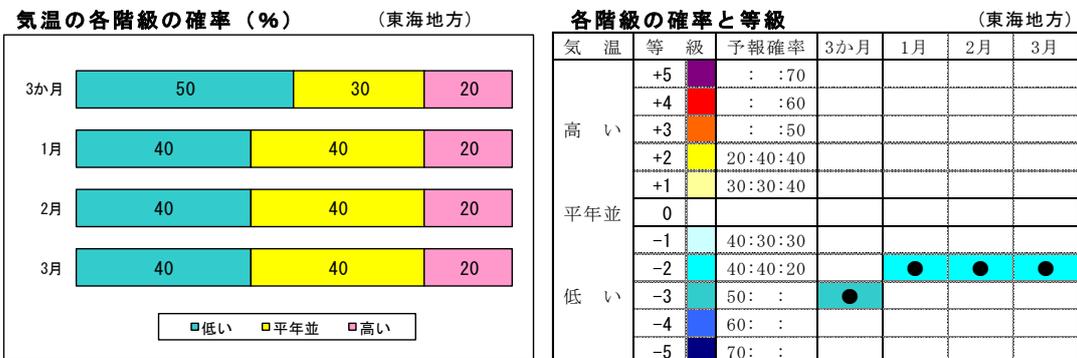
東海地方の3か月全般(1月~3月)の平均気温は、下図のように、低い確率が50%、平年並が30%、高い確率が20%の予報となっています。



同様に、1月から3月までの月別の予報は、下図のとおりです。

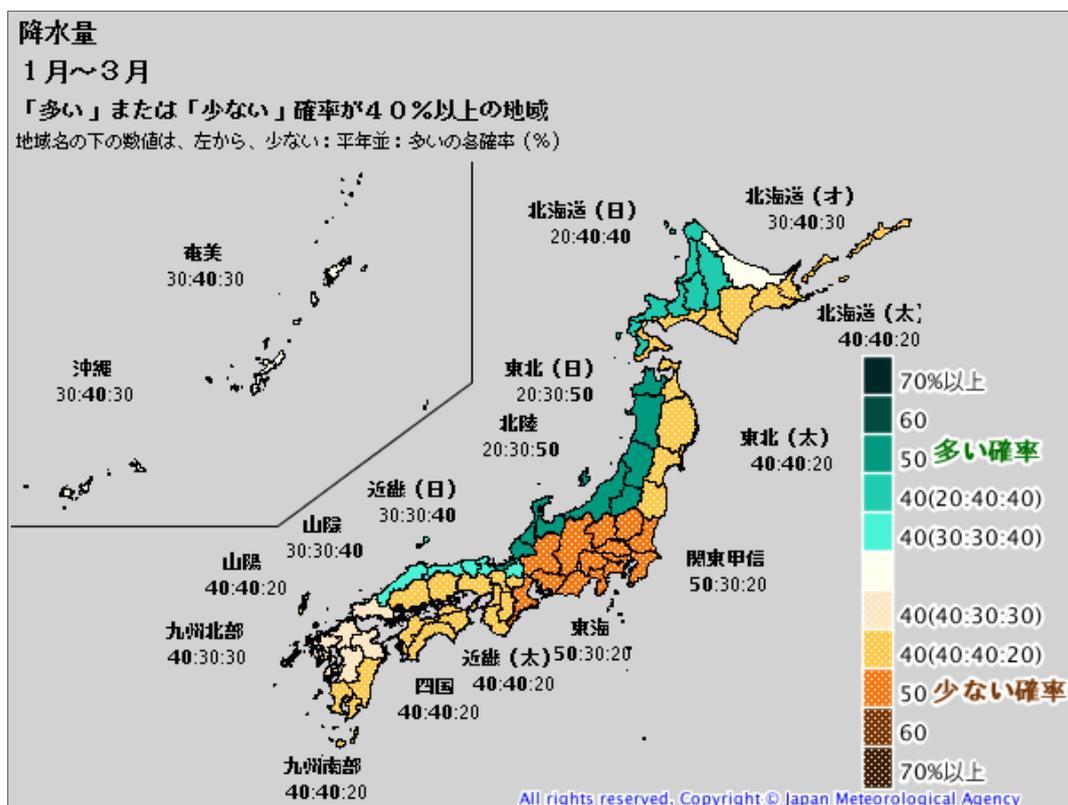
ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般の予報では[-3]、1月から3月の各月は全て[-2]となります。



② 降水量

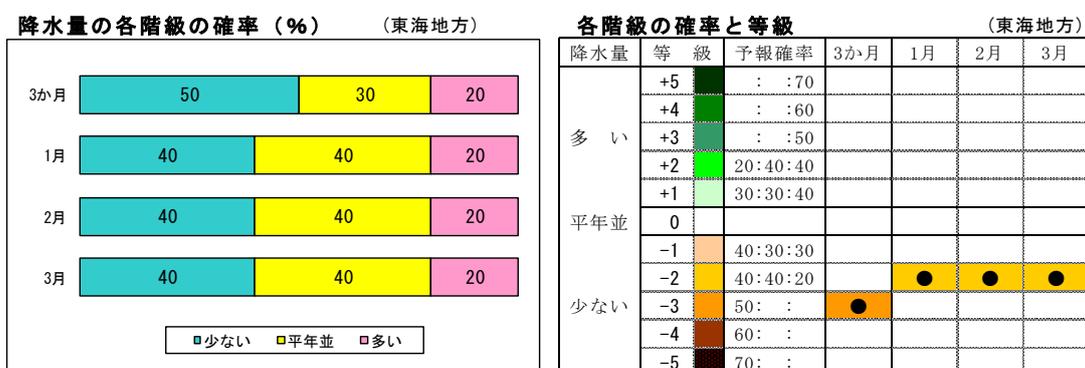
東海地方の3か月全般（1月～3月）の降水量は、下図のように、少ない確率が50%、平年並が30%、多い確率が20%の予報となっています。



同様に、1月から3月までの月別の予報は、下図のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般の予報では[-3]、1月から3月の各月は全て[-2]となります。

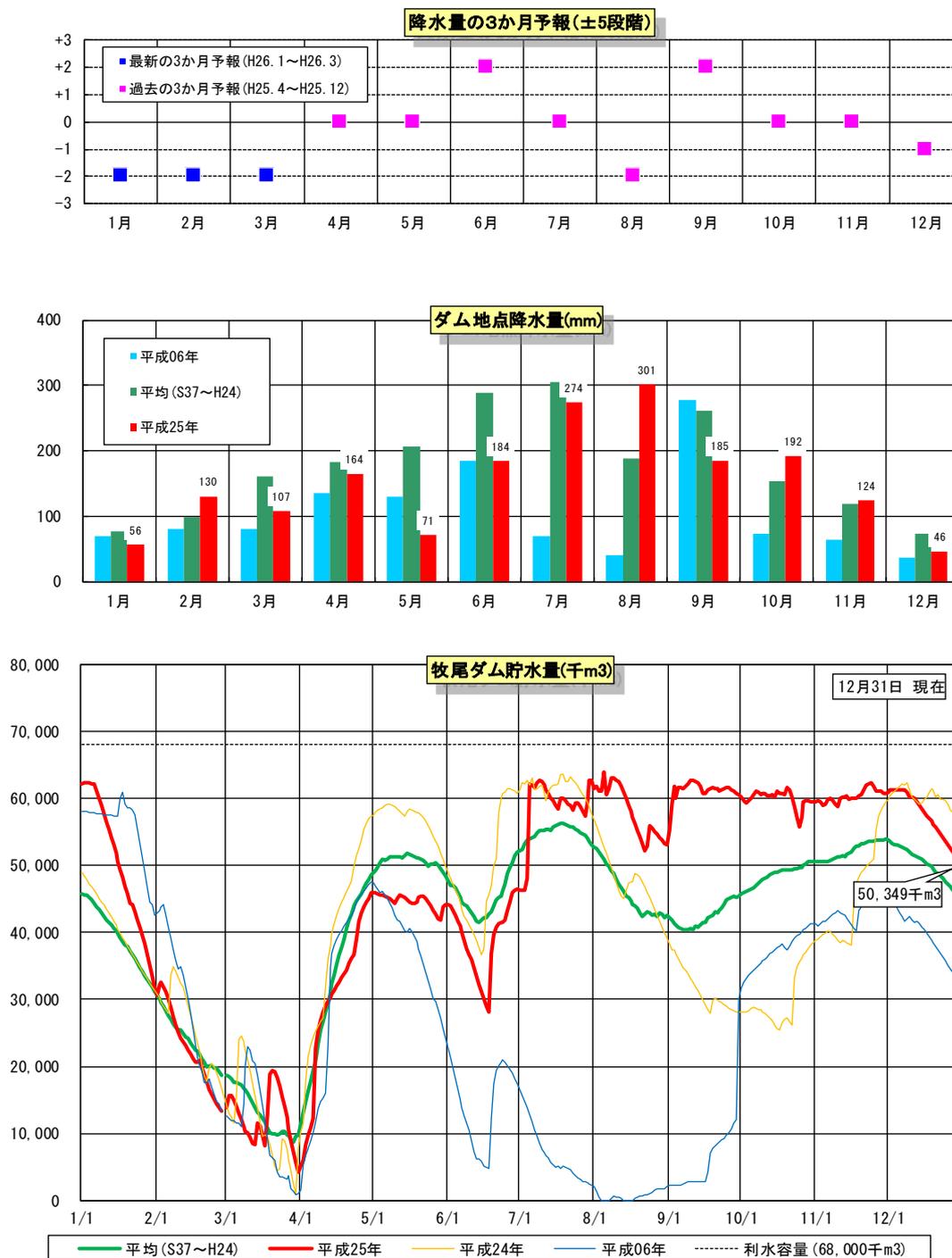


(3) ダム貯水率と3か月予報

以降の図では、代表的なダムの貯水量と東海地方の降水量の3か月予報（±5段階）を対比させています。最新の予報は、1月から3月までの3か月です。

① 牧尾ダム

愛知用水では、平成25年6月18日から農業用水5%、水道用水5%、工業用水10%の節水が行われ、6月29日に解除されるまで、11日間の対策が行われました。

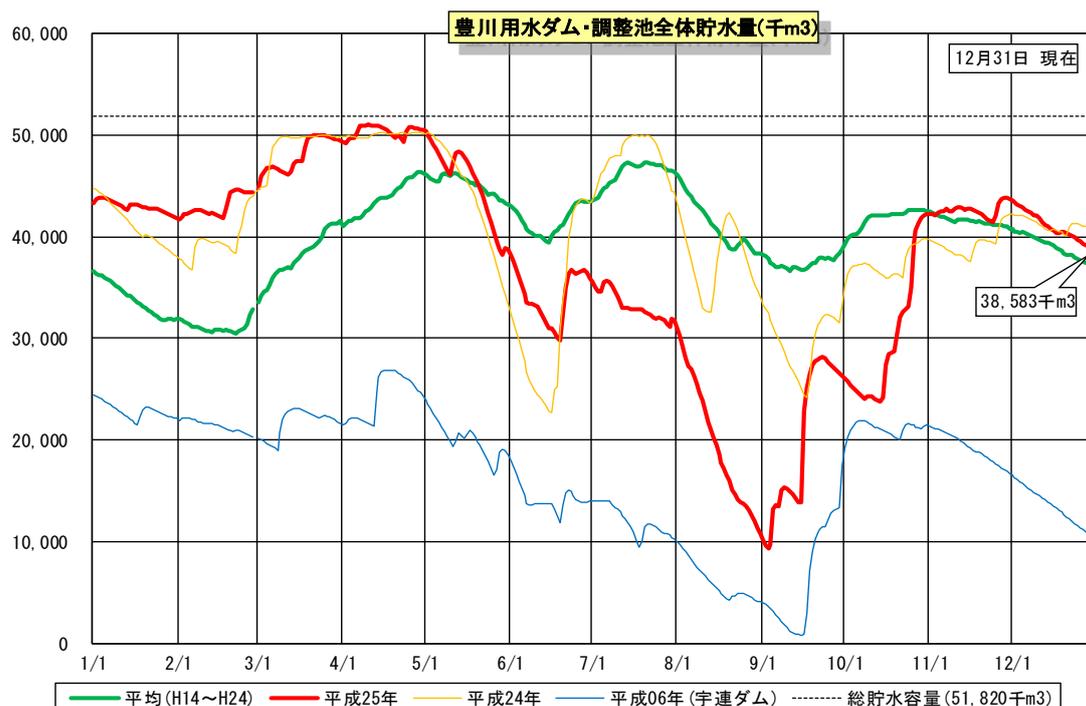
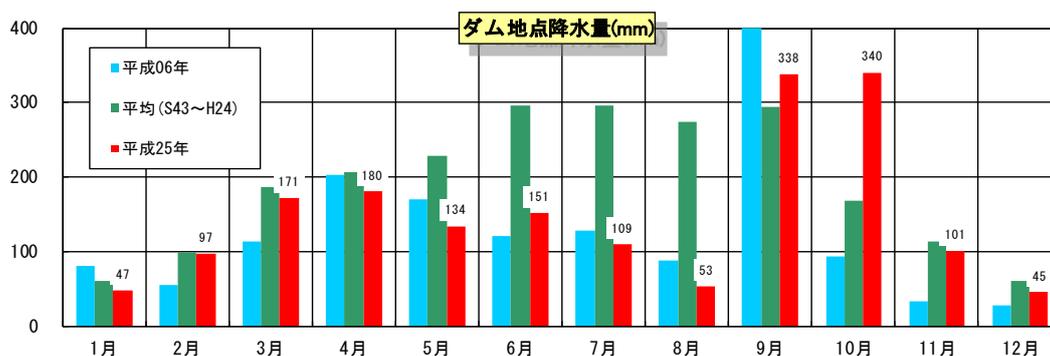


(データ提供：独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

② 豊川用水ダム・調整池全体

豊川用水では、平成 25 年 7 月 26 日から節水対策が始まり、最大で農業用水 40%、水道用水 28%、工業用水 40%の節水が行われました。台風 18 号に伴う降雨により、9 月 18 日に解除されるまで、54 日間の対策が行われました。

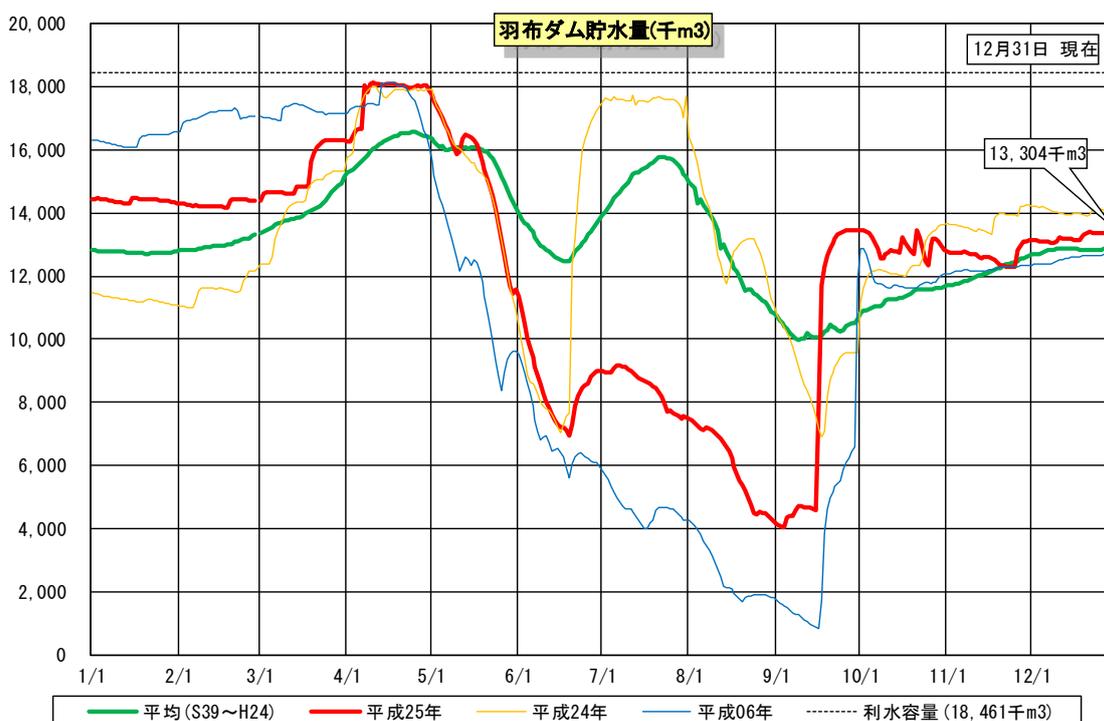
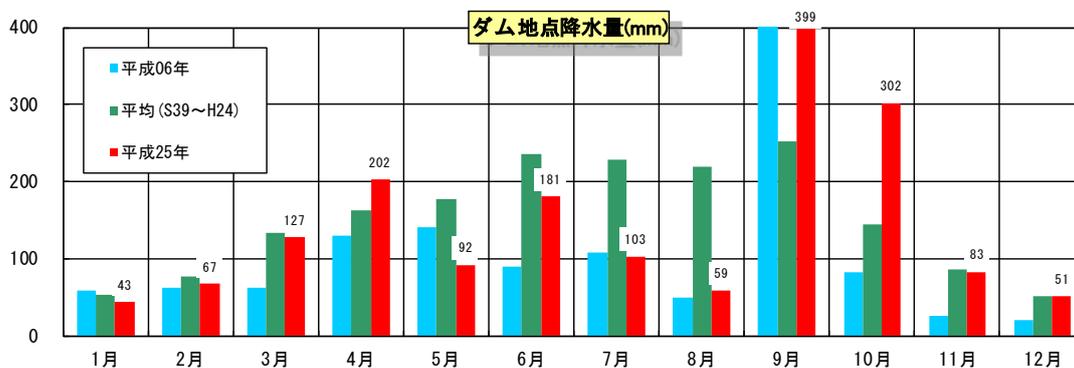
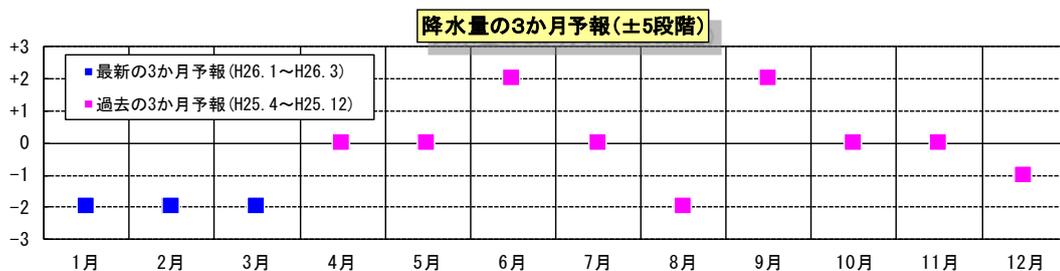
この間、宇連ダムの貯水率は 0.8%、大島ダムと調整池を含む豊川用水全体の貯水率は 18%まで低下しました。



(データ提供：独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部 URL <http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

③ 羽布ダム

矢作川用水では、平成6月5日から節水対策が始まり、最大で農業用水の隔番かんがいによる節水と水道用水20%の取水制限が行われました。台風18号に伴う降雨により、9月17日に解除されるまで、105日間の対策が行われました。



(データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課 URL <http://www.pref.aichi.jp/0000012947.html>)